

島根大学

社会福祉論集

第8号

《論文》

入口支援の現状と課題

—窃盗をくり返すギャンブル依存症者の支援から—

足立 孝子 1

総合相談支援体制を構築する際に地域福祉計画をどう活用するか

—鳥取県米子市の地域福祉政策・実践を事例として—

加川 充浩 11

北欧におけるファミリー・グループ・カンファレンスの特徴と展開

佐藤 桃子 27

《翻刻》（縦組）

大仏空著作集（一）

— I 基底としての「宗教」

山崎 亮 一

島根大学 人間科学部 福祉社会教室

2022年3月

編集後記

- 前号発刊は2020年3月でした。その頃はまだ得体の知れない存在だった新型コロナウイルスの感染拡大により、この2年間で世界は大きく様変わりしてしまいました。大学の授業は全面オンライン授業に切り替えられ、学生の課外活動や地域での実習にも大きく制限がかかりました。しかし、社会福祉実習・精神保健福祉実習をはじめ、地域での教育・研究活動には、コロナ禍においてもたくさんの地域の皆さまにご協力いただきました。学生のためにご尽力いただいた皆さまに、この場を借りて感謝を申し上げます。移動すること、集まること、人と会うこと（とりわけ一緒にものを食べること）が良くないこととされ、「つながりを作る」社会福祉には大きな打撃となりましたが、新たな課題やこれまで見えなかった問題を表出させる2年間でもありました。今後もそれらの課題を踏まえ、社会福祉論集・山陰社会福祉研究会が活発な研究と議論の場を提供できればと考えています。
- 不自由の多いパンデミック下の教育研究活動ですが、新たにオンライン会議というツールが導入され、学会や研究会がオンラインで開催されることが増えました。山陰社会福祉研究会も今年度はオンラインで開催し、卒業生にも参加してもらうことができました。
- 2021年9月に、西崎緑先生がご退職されました。先生のご著書が日本社会福祉学会賞を受賞されたことを記念し、オンライン（zoom）で以下の研究会を開催しました。先生の今後のご活躍をお祈りいたします。

第12回 山陰社会福祉研究会

日時 2021年9月4日

報告 「ソーシャルワークはマイノリティをどう捉えてきたのか」

島根大学人間科学部 西崎 緑 氏

(佐藤桃子)

執筆者一覧

足立 孝子（島根大学人間科学部福祉社会教室）

加川 充浩（島根大学人間科学部福祉社会教室）

佐藤 桃子（島根大学人間科学部福祉社会教室）

山崎 亮（島根大学人間科学部福祉社会教室）

島根大学 社会福祉論集 第8号

ISSN 1881—9419

2022年3月20日 発行

編集人 島根大学人間科学部福祉社会教室

発行人 島根大学人間科学部福祉社会教室

〒690-8504 松江市西川津町1060

印刷所 株式会社 報光社

Journal of Social Welfare Studies

Shimane University

VOL. 8 MARCH 2022

CONTENTS

Original Article

Current Situation and Issues of Entrance Support

Takako ADACHI 1

How to Utilize Community Welfare Planning in Building a Comprehensive Consultation and Support System:

The Case of Community Welfare Policies of Yonago City, Tottori Prefecture

Mitsuhiro KAGAWA 11

Characteristics and Development of Family Group Conferences
in Nordic Countries

Momoko SATO 27

Reprint

Collected Essays of OSARAGI Akira 1: "Religion" as a Basis

Makoto YAMAZAKI —

Study on Welfare Society, Faculty of Human Sciences,
Shimane University (Matsue, JAPAN)